



## カラコンってどうなの？

カラコン（カラーコンタクトレンズ）による目の障害が問題となっています。

カラコンの種類としては瞳（虹彩）の色を変えるオパーク型と、色つきの部分が周辺部にあって、黒目（角膜）の大きさを大きく見せるサークル型があります。信頼できる国内コンタクトレンズメーカーで販売されているものは、すべてサークル型です。

着色の方法は、着色してあるシートを挟み込むサンドイッチ型か、色素をレンズ素材に内包させる埋め込み型、粗雑な吹き付け型などがあります。

いずれも一般のコンタクトレンズより酸素透過性が低くなり、角膜へのストレスは高くなります。それに加えて、吹き付け型では色素そのものの影響に加え、色素が剥がれ落ちると、レンズ表面に凹凸が生じるので眼表面に機械的刺激が加わったり、微生物や汚れが付着して感染症を起こしやすくなったりします。仮に色素が脱落しなくても、色素が乗っている部分はレンズの表面が凸凹の不整になったり、レンズの形状が不均一になったりすることにより、角膜障害が起こりやすくなることも考えられます。

コンタクトレンズによる眼障害は主に角膜に起こり、症状として充血、流涙、視力の低下、眼痛などがありますが、重症化すると視力低下や失明に至る危険性があります。

これらを防ぐためには、オパーク型は使わない。サークル型も眼科医の検査を受けて購入する。正しく取り扱い、少しでも異常を感じたらすぐに使用を中止する、などの注意が必要です。

令和アイクリニック  
院長 桂 真理